

浅草国際学院 茨城校 における取り組みと課題

－「自己点検・自己評価」の集計結果を受けて－

1. 教育理念および教育目標

- ・教育の目標・方針は定められているか (A)
- ・育成人材像は明確か (A)
- ・方針に基づく教育が行われているか (B)
- ・目標・方針が職員・生徒に周知されているか (B)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

授業態度（脱帽や飲食物の持ち込み）や清掃の実施などの指導を徹底している。これにより、学内にある食堂は各国別のガスコンロを設置し、ゴミ箱も各国別に設けてそれぞれの国々の清掃リーダーの下にゴミの管理が徹底されている。イスラム教徒であるバングラデシュ人の食器と調理道具に引き続き留意をしていきたい。

2. 学校運営

- ・運営方針が明確化され、職員に周知されているか (A)
- ・運営組織や意思決定機能が確立され、効率化されているか (B)
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか (A)
- ・経理規定が明確であるか (A)
- ・人事・労務管理規定が定められているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

適材適所を鑑みて、日々の業務および目標達成に支障がない人材を確保している。業務の効率化をはかるために、OA機器およびLINEおよびWhatsAppを用いて情報の共有をはかっている。

3. 財務

- ・中長期的に学校の財政基盤は安定しているか (B)
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当か (A)
- ・会計検査が適切に行われているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

在籍管理優良校としての当校は財政基盤は盤石であるが、会計検査を通じてさらに透明化をはかっていきたい。

4. 教職員

- ・校長、主任教員、教員は「日本語教育機関の運営に関する運営基準」で定められた要件に適合しているか (A)
- ・教育目標・方針が教員間で共有されているか (A)
- ・教育目標を達成するための取り組みがされているか (A)
- ・教職員の評価を行っているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

これまでは在籍者数が少なかったため、大学院進学およびEJUによる大学進学が少なかった。2023年度は在籍者数が多く見込まれるので、学生の進学が充実するよう努力したい。

5. 在留管理と生活指導

- ・生活指導責任者及び入管事務担当者が特定され、生徒に周知されているか (A)
- ・入国・在留関係の管理・指導が適切に行われているか (A)
- ・生徒が母国と日本の文化の違いを理解するための指導やアドバイスが行われているか (A)
- ・生徒の出席状況の管理とフォロー体制が確立されているか (A)
- ・我が国の法令を遵守させる指導を行っているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

日本の交通ルールを遵守するように指導している。とくに自転車通学者にはヘルメットの着用を義務づけている。電動アシスト自転車ではなく、違法な全電動の自転車を購入させないように指導を徹底したい。

6. 教育施設

- ・教室、その他の施設は、「日本語教育機関の運営に関する基準」に適合しているか (A)
- ・全ての教室は照度、換気は十分に確保されているか (A)
- ・全ての教室は必要な遮音性が確保されているか (B)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

教室は全て一戸建てであり十分な遮音性と十二分な照度が確保されている。ただし、夏季の授業は移転後に初経験となるので、空調機器に問題が生じないよう留意したい。

7. 教育活動

- ・教育目標達成にむけた内容や進度であるか (A)
- ・カリキュラムは体系的に編成されているか (A)
- ・教育内容・方法についての教員間で共有しているか (A)
- ・教育目標に適合した教材や機器が使用されているか (A)
- ・学習理解の到達度の確認はなされているか、成績評価は適切か (A)
- ・個別学習指導等の体制・指導が行われているか (A)
- ・日本語試験の認定率向上のための指導体制は確立されているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

教科書について、従前どおり『できる日本語』を採択するか、あらためて『みんなの日本語』を採択するかで多角的な議論を行い、前者を当校に相応しい教科書として採用した。

8. 生徒支援

- ・住居やアルバイト等、学生の生活環境への支援・助言等が行われているか (A)
- ・生徒の生活相談に関する体制は整備され、機能しているか (A)
- ・進路指導担当者が特定され、生徒に周知されているか (A)
- ・進学・就職指導体制は整備され、機能しているか。 (A)
- ・健康診断を定期的に行っているか (A)
- ・生徒の日常生活における心身の健康管理体制が整っているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

当校は農村部にあるため、アルバイトは農業の比重が高い。農業は農閑期と農繁期とのアップダウンがあるので学生が安定したアルバイトに従事できるよう助言している。

9. 生徒の募集

- ・生徒の受け入れ方針は定まっているか (A)
- ・方針は教育目標に沿ったものか (A)
- ・募集計画を定めているか (A)
- ・募集活動は適切に行われているか (A)
- ・教育成果は正しく伝えられているか (A)
- ・定員設定・在籍数は適正か (B)
- ・入学選考は適正かつ公平な基準で行われているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

当校は在籍管理優良校であるため、それに合致するよう適正な募集活動を行っている。

10. 教育の成果

- ・日本語能力試験、日本留学試験等の結果を把握しているか (A)
- ・進級、卒業判定が適切に行われているか (A)
- ・生徒の卒業後の進路を把握しているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

従来の日本語能力試験（JLPT）だけでなく、国際交流基金日本語基礎テスト（JFT-Basic）および外国人日本語能力検定試験（JLCT）などに対して積極的に挑むよう指導をしている。

11. 法令の遵守

- ・法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか (A)
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか (A)
- ・自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか (A)
- ・自己点検・自己評価結果を公開しているか (A)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

個人情報の保護のためのコンプライアンス研修を経営者および教職員対象に定期的実施している。

12. 安全・危機管理

- ・対象となる生徒全員が国民健康保険に加入しているか (A)
- ・感染症発生時の措置を定めているか (A)
- ・防災用品が備蓄されているか (A)
- ・災害等に対する避難訓練を定期的実施しているか (A)
- ・災害時の避難経路、方法、場所を定めているか (B)

< 現状・具体的な取り組み／課題 >

東日本大震災の教訓から非常用品と非常食を常備している。また地震および地震による液状化現象への避難訓練を実施している。